

# GIOACHINO ROSSINI

渋谷混声合唱団 第16回 定期演奏会

# PETITE MESSE SOLENNELLE

## G.ロッシーニ

# 小荘厳ミサ曲

2010年 7/3 [土] 2:00PM開演 (1:15PM開場)

東京オペラシティコンサートホール タケミツメモリアル (京王新線 初台駅下車)

料金 一般3,000円 学生2,000円 全席自由

指揮 ————— 水野克彦  
ソプラノ ————— 佐竹由美  
アルト ————— 日野妙果  
テナー ————— 望月哲也  
バス ————— 久保田真澄  
ピアノ ————— 河原忠之  
ハルモニウム — 崎山裕子  
合唱 ————— 渋谷混声合唱団



水野克彦



佐竹由美



日野妙果



望月哲也



久保田真澄



河原忠之



崎山裕子



**水野克彦** Katsuhiko MIZUNO  
Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッサ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに十代の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。

**渋谷混声合唱団**  
SHIBUYA MIXED CHORUS

渋谷混声合唱団は、1984年12月に開かれた、「渋谷区民音楽のつどい〜第九を歌う会〜」第1回演奏会の出演者有志により、当時恵比寿社会教育会館長谷戸分館の社会教育指導員をされていた松崎フミ子先生に顧問をお願いし、このときのバリトンソリストの斎藤明生先生を指揮者にお迎えして、1985年4月に創設されました。16世紀のパレストリーナやバードの作品で宗教曲の基本を学び、ハイドン、ヴィヴァルディ、モーツァルトの大作を歌えるようになりました。2000年1月から現指揮者の水野克彦先生にご指導をいただくことになり、宗教音楽を愛する団員の意気込みはますます大きくなり、さらに研鑽をかさね今日にいたっております。



**佐竹由美** Naomi SATAKE  
Soprano

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了、博士号を取得。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善留学生としてミラノにて研鑽を積む。第53回日本音楽コンクール第2位、イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞、ドイツ・ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリスト第一人者として活躍、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。現代作品においても作曲家諸氏から絶大な信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。オペラでは日本オペラ協会東京室内歌劇場、日生劇場、二期会などにおいて主要キャストとして活躍、公演の成功に大きく寄与した。これらの演奏活動に対し、99年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。国立音楽大学および東京藝術大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員。



**日野妙果** Taeka HINO  
Mezzo-soprano

国立音楽大学卒業、ウィーン国立音楽大学首席卒業。岡部多喜子、富田静子、ワルター・モーア、グンドゥラ・ヤノヴィッツ、エルンスト・ヘフリガーの各氏に師事。J.アラガール国際オペラコンクール2位(スペイン)、バルマ・ドーロ国際室内楽コンクール声楽部門3位(イタリア)。ドイツ、ラインスベルク音楽祭にてCh.ティールマン指揮、R.シュトラウス『ナクソス島のアリアドネ』の作曲家役でオペラ・デビュー。国内に於いても東京新国立劇場を始め各地のオペラ公演に出演。また、ヴァルナ夏季音楽祭、ダボス音楽祭、草津音楽祭、シュトゥツガルト・バッハアカデミー管弦楽団、ウィーン・バッハアカデミー管弦楽団、ベルン混声合唱団などにソリストとして招聘され、コンサート、宗教曲に於けるアルト・ソリストとしては豊富な経験と安定した歌唱に定評がある。2003〜04年にかけてG・ヤノヴィッツ氏の後援でオーストリアのアイスガールンに於いて歌曲の連続演奏会を、またE・ヘフリガー氏の推薦によりスイスのダボスでリサイタルを開く。二期会会員、イタリア・モンテグラール・オペラアカデミー会員。



**望月哲也** Tetsuya MOCHIZUKI  
Tenor

東京藝大および同大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオ修了。平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。オペラでは《魔笛》《ドン・ジョヴァンニ》《コジ・ファン・トゥッテ》等多数出演し、06年の二期会とハンブルク国立歌劇場の共同制作《皇帝ティエリ》の慈悲(演出:P.コンヴィチュニー)、09年二期会公演《カプリッチョ》(演出:J.ローウェルス)では、新聞・雑誌等で高評を得た。2010年3月には《ラ・ボエーム》(演出:A.ホモキ)にロドルフォ役で出演。宗教曲の分野でも評価は高く、《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》をはじめ、そのレパートリーは30作品以上にもわたる。09年3月より王子ホールで《Wanderer〜旅人》リサイタルシリーズを開始、毎回異なったテーマによるプログラムは好評を博している。08年3月にはポーランド・レグニツァ市立劇場《魔笛》タミーノでヨーロッパデビュー。ウィーン楽友協会での《第九》演奏会、同年8月にはオーストリア・シュタイアー音楽祭に出演するなど、ヨーロッパでの活動の場を広げている。二期会会員、聖徳大学講師



**久保田真澄** Masumi KUBOTA  
Bass

国立音楽大学卒業、同大学院修了。1994年五島記念文化財団奨学生として渡伊。第6回(財)江副育英会オペラ奨学生。第62回日本音楽コンクール第3位。1996年リッカルド・ザンドナイ、第2回フェルッチョ・タリアヴィーニ二両国際コンクール入選。是安豊美、田島好一、佐藤征一郎、V・テッラノーヴァ、L・バラジョーラ、L・ゴッラの諸氏に師事、留学中、研鑽の傍らミラノなどで「ルチア」「仮面舞踏会」「ラ・ボエーム」などのほか、第4回プラハ国際音楽祭でのモーツァルト「レクイエム」、オーストリア各地のコンサート、スイスやミラノで「小莊嚴ミサ」などに出演。藤原歌劇団に1998年文化庁芸術劇場公演「愛の妙案」のドルカマール出演を経て、同年秋に新国立劇場共催「セビリアの理髪師」のバルトロで本公演デビュー。新国立劇場でも1998年「アイダ」のエジプト国王でデビュー以来、「エウゲニ・オネーギン」「ドン・カルロ」「カルメン」「仮面舞踏会」「リゴレット」「トゥランドット」「ドン・ジョヴァンニ」ほか多数出演。また「第九」「マラー・交響曲第8番千人の交響曲」「ハイドン・天地創造」「ヴェルディ・レクイエム」などのソロとしても活躍している。藤原歌劇団員。国立音楽大学専任講師。



**河原忠之** Tadayuki KAWAHARA  
Piano

国立音楽大学卒業。同大学院修了。91年より渡伊。故アルド・ブロッティ氏のもとオペラ伴奏ピアニストを勤め数々の演奏会に出演。またマリア・カルボネ女史のもとでは伝統的なイタリアオペラの表現にとどまらず発声法・ディクション等も取得。帰国後はサイトウキネンフェスティバル等でコレペイトウールとして活躍。年間ステージは100を超え、リサイタル等のピアニストとしてその幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。2006年江原啓之「スピリチュアル・ヴォイス・カウントダウン」大阪城ホールにて大阪センチュリー交響楽団を指揮し、指揮者デビューを果たした。また、2008年NHKニューイヤーオペラコンサートにおいて、プッチーニの生の映像をバックにプッチーニのピアノ・ソロを演奏し、好評を博した。2009年11月国立音楽大学音楽研究所公演プッチーニ「ラ・ロンドンネ」にてオペラ指揮者デビュー。確実にこの分野でもキャリアを伸ばしている。2010年2月14日に、自身が主宰するGruppo Kappa Opera第一回旗揚げ公演「ヘンゼルとグレーテル」を行い、各方面からの絶賛を浴びた。現在、国立音楽大学および大学院准教授、東京藝術大学大学院非常勤講師。

合唱団員募集

- 練習会場: 渋谷区内  
(主な練習会場: リフレッシュ氷川、ケアコミュニティ美竹の丘)
- 練習時間: 毎週土曜日 13:50~16:50
- 合唱指導: 水野克彦
- ピアニスト: 船澤めぐみ
- 連絡先: 小川 (TEL: 03-5560-7725)  
E-mail: yyy-dream@ta3.so-net.net.jp

合唱団ホームページ <http://shibukon.com>

※携帯電話からもご覧いただけます。



【交通のご案内】

- 京王新線「初台」東口  
都営新宿線相互乗り入れ京王新線にて新宿から2分
- 渋谷より京王バス 渋谷3・渋谷64・渋谷66・渋谷61  
都営バス 渋谷66  
(バス停留所) 京王バス(渋谷3・渋谷66・渋谷61)・東京オペラシティ南  
京王バス(渋谷64)・東京オペラシティ  
都営バス(渋谷66)・東京オペラシティ南